

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域の学校、保育園等とホームとが相互に交流する機会は少ない。今後、地域の社会資源を活かすなど、更に交流の輪を広げて利用者の暮らしに取り入れる様に望みたい。	近隣の学校と定期的な交流が図れるようにする。	コロナが終息後、学校訪問し。生徒さんとホームのご利用者様が交流できるような機会を作って頂けるように、お話をする。また、実現できたら、継続できるように、学校訪問をしたり、行事や、推進会議にお誘いするようにする。	ヶ月
2	23	適正な水分補給、栄養摂取、運動、排泄に取り組み、利用者の覚醒、自立の改善を支援している。利用者の自立の向上を促し、思いに沿う支援に繋がるよう期待したい。	ご利用者様の思い、夢を実現させる。	身体機能の向上後に何がしたいか、ご利用者様の思いや夢を確認し、実現に向けた、プラン作成を行うようにする。	ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。